

# 「港南区の協働による 地域づくりとは」



対談日 令和4年9月30日



港南区長

**栗原 敏也**

平成25年港南区地域振興課長として、学び舎ひまわり開校を担当し、当時の高森会長が提唱した協働による地域づくりに事務方として関わった。

港南区連合町内会長  
連絡協議会

顧問 **高森 政雄**

区連長(平成18年～26年)、顧問(平成26年～)を歴任。地域活動に長年携わり、平成24年藍綬褒章(交通安全功労)、平成30年旭日双光章(自治会町内会功労)を受賞。

港南区連合町内会長  
連絡協議会

会長 **古屋 文雄**

令和4年7月に区連長就任。下永谷連合町内会会長、区スポーツ協会会長等を兼任。横浜商業高校野球部監督として通算8度甲子園出場(83年春夏全国準優勝)、同校の校長を歴任。

**栗原区長** 今日、港南区の地域活動に長年携わり、様々な貢献をしてきた高森顧問と、令和4年7月に区連長に就任された古屋会長にお越しいただきました。

高森顧問は、区連長時代の平成25年に「協働による地域づくり」を提唱されましたが、どのような考えがあったのか伺います。

**高森顧問** 当時、私は地域づくりを進めるうえで、行政にすべてをお願いしてやっってもらうという姿勢では、これからの人口減少・超高齢社会を乗り切っていくことは出来なくなるだろうと考えました。

防災・減災ひとつを考えてみても、大きな災害が発生した時には、行政の援助を待っている時間はありません。まずは地域が結束して取り組んでいかなければ、私たちの命は守れないのが現実だと痛感しました。

何もかも、行政だよりにするのではなく、自分達で出来るところはまず自分たちでやる。そして私たちにできない部分を行政に担ってもらう。そういう役割分担が必要ではないかと考えました。





**栗原区長** 協働による地域づくりを推進するための取組として、学び舎ひまわり（地域づくり大学校）があげられますが、高森顧問、そのことについてお話しください。

**高森顧問** 協働による地域づくりを担っていく「人」が、最も重要だと考えました。そこで、これからを担う人材を育成するために、区連会、区社協、区役所の協働事業として、平成25年9月に学び舎ひまわりを開校しました。（校長は区連長）また、地域活動者と区役所、区社協、地域ケアプラザの職員と一緒に机を並べて学ぶようにしました。

ここを卒業した地域活動者が、リーダーとして協働による地域づくりを推進してもらいたいという願いがありました。

**栗原区長** 現在、地域活動者の卒業生は195名となり、まさに高森顧問の願いどおり卒業生は地域活動のリーダーとして活躍されています。

今年度は、10周年を迎えたことを機に、協働による地域づくりの輪を広げるため、新たに地域企業にお勤めの方を受講生としてお迎えしました。

**高森顧問** 私は企業も区民の一員という考えです。協働による地域づくりの重要なパートナーであり、受講生として参加していただくことは大事なことです。これからは是非継続して欲しいですね。

**栗原区長** 高森顧問は、地域の皆さんで行う意見交換会の開催にも尽力されましたが、どういう考えがあったのでしょうか。



**高森顧問** 区連会の皆さんと議論を重ね、区連会と各地区連合町内会で意見交換会を行うようになりました。

こういう取組を始めたのは、地域の課題について話し合うことで、自分たちが何をすればいいのか、自分達の問題として考えてもらいたいという思いがあったからです。

**古屋会長** 私の地区では、地域支援チーム（区役所、区社協、地域ケアプラザの職員で構成）の協力を得て、毎年6月に意見交換会を開催しています。

いつも議論百出で盛り上がりますね。また、終わった後に、ほのかな連帯感を感じられるのも良いところだと思います。



**栗原区長** 毎年3月に、「元氣な地域づくりフォーラム」を開催しますが、ねらいはどのようなところにあったのでしょうか。

**高森顧問** 各地域で行っている取組のうち、他の地域にも参考になる取組を、このフォーラムで紹介することで、自分たちの取組を更によくする機会にもなります。

また、次年度の地域活動の取組方針を発表することで、各地域も活動計画を立てやすくなると思います。

区連長を辞めてからも毎年出席していましたが、協働による地域づくりが着実に推進されているなど認識する場でもあります。

**栗原区長** 古屋会長は、令和元年度フォーラムの区制50周年特別イベントで、横浜高校野球部監督の渡辺氏との記念対談にご協力いただきました。

約700名の参加者があり、大変に盛り上がったと聞いておりますが、そのときの感想はどうでしょうか。

**古屋会長** 私は、野球部監督時代に、横浜高校とはライバル校として対戦したこともあり、渡辺氏に声をかけて実現しました。

対談の時は非常に緊張しましたが、今は良い思い出になっています。

フォーラムには毎年参加していますが、工夫を凝らした発表を楽しんでいます。後半になると会場の雰囲気为一体となつていきますね。

**栗原区長** 最後になりますが、高森顧問は、協働による地域づくりを進めていくうえで、どういうことが大事だと思いますか。

**高森顧問** 近年の大規模災害のことを踏まえると、住民一人ひとりの自助を促し、地域における共助を担う中心として、最も基礎的な団体である「自治会町内会」の役割

が、地域の様々な活動を結束していく要として、ますます重要になっていくと感じています。

いざという時に協力できるように、日頃から、地域活動者同士の連携・協力関係を強化し、「地域力」を高めていく必要があると思います。

